



ふくしのお便り

2022. 4月

4月は色々なことがスタートする季節です。春日支所から見える黒井川では、桜が満開で多くの方が散歩や撮影を楽しんでおられました。寒暖の差もありますが、外に出て深呼吸をすると気持ちが一掃となりますよ。新しいことにチャレンジする方も多いかと思えます。ぽかぽか陽気を浴びながら、頑張りすぎず無理をしないで、ぼちぼちしていきましょう。

春日地域の人口、 高齢化率をご存知ですか？ (R4.3.31 市HPより)

高齢化は年々進んでいます。以前は動けていたことが、少しずつできなくなってくることも出てきます。誰かに少し助けてほしい時、あなたならどうしますか？

気軽に声をかけ合い、話し相手がいる地域、誰も孤立しない地域、「いつまでも自宅で暮らしたい」と思える地域のために、私たち一人ひとりが、できることを、今から考えていくことが大切です。

地区	全人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率
黒井	3,351	1,062	31.7%
春日部	1,983	763	38.5%
大路	1,935	813	42.0%
国領	2,096	789	37.6%
船城	1,179	496	42.1%

高齢化率とは、総人口に占める高齢者人口(65歳以上)の割合のことを言います。春日地域の高齢化率は37.2%で、丹波市では35.3%となっています。(船城地区の高齢化率は市内で4番目に高い。大路地区は市内で5番目に高い。)

～ボランティア紹介～

先駆的な活動、専門的な支援をされていました。

丹波市ボランティア協会春日支部所属のグループが3月末で解散されました。障害のある方への支援グループとして活動されていた、「てるてるサロン」さんをご紹介します。

てるてるサロン (平成18年～、現会員5名)

代表者: 竹村富美代さん
傾聴ボランティア講座の受講者で会を立ち上げ、活動を始めました。作業所のお手伝いや障害のある方の居場所づくりを定期的に開催していました。市外のイベントに同行したことも楽しかったし、普段あまり話をしない子が話をしていたり、おばあちゃんのところに行くみたい気軽に来てくれていたのが嬉しかったです。コロナ禍で最近は活動ができなかったけれど、できれば続けたかった。活動が終わるのは涙が出るほど寂しいです。



★設立当初の活動ができなかったり、活動機会の減少、高齢化などの理由で会を解散することは、他のグループにも当てはまるのではないかと思います。活動を継続していくことの難しさを感じています。

～地域の相談窓口～ よろずおせっかい相談所(支援センター・相談所・つなぎ)があります！
★心配なこと、気になることなど、誰かに聞いてほしい…社協の窓口やお電話でも大丈夫です。

・社協春日支所 74-0477
・ふだんのくらしサポートセンター
・よろずおせっかい支縁センター 74-0294

自治会、サロン、子ども会、老人クラブなどの集まりでご利用ください！

✿出張教室事業
身近な福祉の話
や認知症予防の話、
ゲームなどを行います。



✿コミュニティカフェ
の支援（実費負担あり）
自治会単位でのつど
いの場の支援として、
カフェ運営をお手伝い
します。



✿レクリエーション用具等の貸し出し
みんなで遊べる道具を貸し出します。
車いすの貸し出しもあります。



✿レクリエーション講師の調整
丹波市ボランティア市民活動センター
に登録されている講師やレクリエーショ
ングループの依頼調整を行ないます。



生活にお困りの方へのご相談や支援も行っています

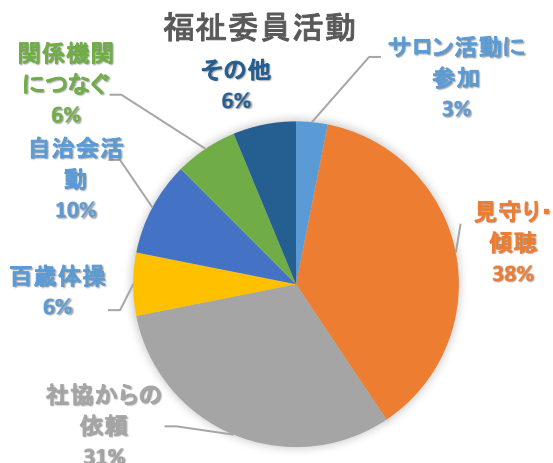
✿フードドライブ
食料品をお渡ししています。
* 物品は地域の方やコー
プ、ゆめタウンなどから
いただいた物です。



✿資金の貸付
生活困窮の方に状況に応じて必要な
資金の貸付を行い、自立を支援します。
（例：生活費、教育支援費、福祉費など、
用途によって違います）

令和3年度 福祉委員 活動紹介

福祉委員は社協会長が委嘱している委員さんです。地域の福祉課題を発見し、専門機関に繋ぐなど「地域のパイプ役・アンテナ役」をお願いしています。令和3年度から福祉委員さんには年度の活動報告をお願いしています。



多くの福祉委員さんが見守り活動をされました。訪問し、話を聴くだけでも大変喜んでくださったという意見もありました。また、福祉委員として、地域での課題を話してくださる方もおられました。

コロナのために地域での活動がしにくい1年だったと思いますが、少しずつ見守り活動に加えて、つどいの場への参加も増えていく事を願っています。